

フェーン・異常高温緊急情報(第2号)

令和6年8月20日
新潟県農林水産部

8月22日から23日にかけて、34℃以上の高温が予想されています。

高温障害から水稲を守るため、飽水管理を徹底し、地温の上昇を抑えましょう。

気象予報と生育の見込み

- 新潟地方気象台が8月19日11時に発表した「新潟県の天気予報(7日先まで)」では、22～23日の最高気温は34～35℃、最低気温は26～27℃と高温が予報されています。
- コシヒカリは、高温により白未熟粒が発生しやすい時期です。特に、直はなど出穂の遅いコシヒカリは、出穂後の高温に対する感受性が最も高く品質に影響を及ぼしやすい時期です(出穂期後10～13日)。
- 新之助は、出穂後の高温に対する感受性が高く、最も水を必要とする時期です。

当面の管理対策

- 土壌が乾いた状態で異常高温に遭遇すると品質が大きく低下します。高温障害による被害を軽減するため、飽水管理を継続し、地温の上昇を抑えましょう。
- 用水の供給状況に配慮して、地域全体に用水が行き渡るよう、こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めるなど用水を大切に利用してください。
- 熱中症の発生リスクが高いため、暑い時間の作業を避け、こまめに水分を補給し、休憩時間を十分に確保するなど、いつも以上に熱中症予防と健康管理に十分注意してください。

限りある農業用水を、大切に利用してください。